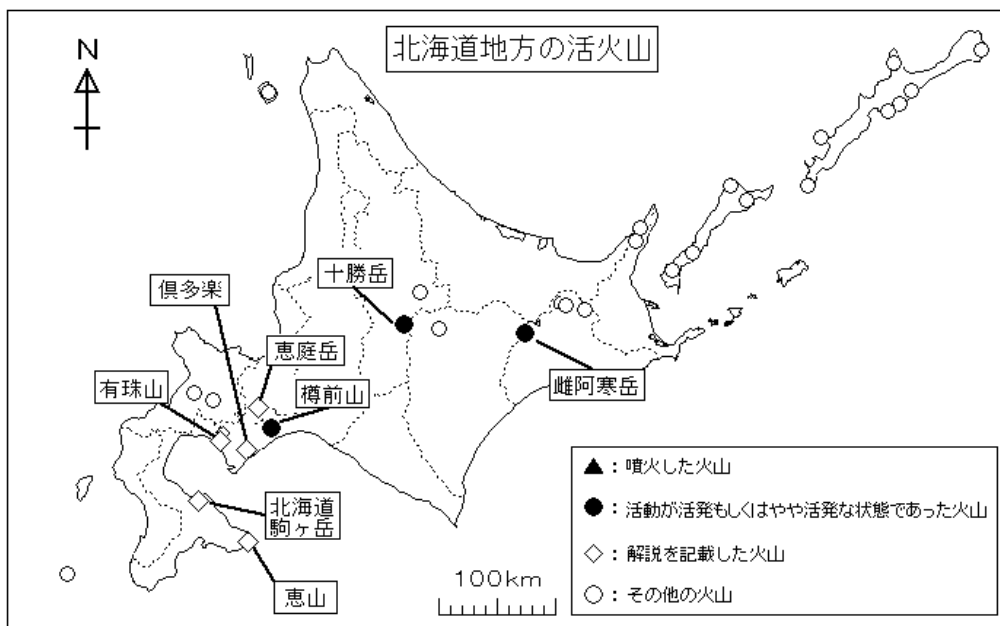


## 北海道地方の火山活動解説資料（平成 18 年 6 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳では、火山活動は活発な状態からやや活発な状態となっています。  
十勝岳、樽前山では引き続きやや活発な状態が続いています。

## ●雌阿寒岳 [やや活発な状況]

3月21日の小噴火以降、噴煙活動は活発な状態でしたが、その後低下傾向が認められており、火山活動はやや活発な状態となっています。火口近傍では注意が必要です。

## ●十勝岳 [やや活発な状況]

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いており、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

## ●樽前山 [やや活発な状況]

A火口やB噴気孔群は高温の状態が続いており、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

## ◇恵庭岳 [静穏な状況]

30日に実施した上空からの観測\*では、噴気の状態に変化はありませんでした。火山活動は静穏な状態です。

## ◇倶多楽 [静穏な状況]

30日に実施した上空からの観測\*では、噴気の状態や火口の状態に変化はありませんでした。火山活動は静穏な状態です。

## ◇有珠山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

## ◇北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている昭和4年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。

## ◇恵山 [静穏な状況]

30日に実施した上空からの観測\*では、噴気の状態や火口の状態に変化はありませんでした。火山活動は静穏な状態です。

\*：北海道開発局の協力による